

事務事業マネージメントシート

作成日 平成29年 05月 20日

事務事業名	公共下水道建設事業（雨水）			担当	建設部 下水道課 工務係							
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			電話番号	0285-83-8161						
施策名	2	下水道事業の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業							
関連個別計画												
法令根拠	下水道法					事業期間						
予算科目	9. 公共下水道事業特別会計	1. 公共下水道 整備	3 建設費	1 建設費	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（昭和47年度～平成38年度）							
事業概要	本市の公共下水道は、生活環境の改善、併せて公共水域の水質保全を目的としている。雨水整備については、汚水と雨水を別々に処理する分流式で、市街地の浸水を防ぐため、昭和48年1月に事業の認可を得て、行屋第1排水区の140haに着手し、以降順次整備を行っている。雨水の全体計画面積は1,430.8haで、平成28年度末現在の整備状況は、782.9haが整備され整備率は、54.7%となっている。											

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
28年度実績 雨水管渠工事(L=342.2m) *繰越(L=263.1m) ・龜山北地区、八木岡地区 *現年(L=79.1m) ・龜山北地区	ア 整備面積(単年度)	ha	11.7	0.6	1.3	0.8	0.0	
	イ 管渠延長(単年度)	m	898	571	707	342	210	
29年度計画 雨水管渠工事(L=210.0m) *現年(L=210.0m)・久下田地区 ・事業計画変更・西郷地区浸水対策事業基本設計・測量 調整池整備工事 *総合・中郷・萩田地区第2調整池4-1,320m ²	ウ							
	エ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 計画面積（全体計画）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
ア 整備計画面積（全体計画面積）a	ha	1,430.8	1,430.8	1,430.8	1,430.8	1,430.8	1,430.8	
	イ							
ウ								
	エ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 雨水による浸水被害を防ぐ。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
ア 整備面積（累積）b	ha	780.2	780.8	782.1	782.9	782.9	782.9	
	イ 管渠延長（累積）	km	35.3	35.9	36.6	36.9	37.1	
ウ 雨水整備面積率(%a)	%	54.5	54.6	54.7	54.7	54.7	54.7	
	エ							
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 安全なまちづくりが促進される。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
ア 市民意向調査での雨水のはけ具合の「良い」の割合	%	60.8	60.2	65.2	64.4	65.0	65.0	
	イ							
ウ								
	エ							

(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	176,777	128,571	78,989	44,540
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	172,700	121,500	90,300	133,200
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	20,880	14,583	10,172	12,383
事業費計（A）		千円	370,357	264,654	179,461	190,123	106,419
人件費	正規職員従事人数	人		4	4	4	4
	延べ業務時間	時間		5,209	4,291	3,528	3,254
	人件費計（B）	千円	21,169	18,112	14,782	13,514	9,232
トータルコスト(A)+(B)		千円	391,526	282,766	194,243	203,637	115,651

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市街地における雨水による浸水被害を防止するため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	近年のゲリラ豪雨等により雨水による浸水被害が増加している。 松山町地区及び龜山北地区の雨水管渠整備は平成28年度をもって工事を完了。平成29年度から久下田地区の浸水対策事業として雨水函渠工事に着手する。また、西郷地区の浸水対策事業として、平成29年度に現況測量、基本設計を実施する。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	浸水被害地域から早急な解決を望む声が上がっている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民の快適な生活環境の整備が図られる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市街地の浸水被害を解消するため、下水道法により市町村が行うことが定められている。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 下水道全体計画策定期(平成24年度)に適切に検討している。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 下水道全体整備計画により計画的に整備が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 浸水被害が継続して発生する。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費の削減により管渠や施設の整備が遅れ、浸水被害の解消が遅れる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 可能な範囲で、調査・設計業務を民間に委託して人件費の削減に努めている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 雨水排水については、浸水被害の解消を目的としており、市が実施することは公正・公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画)	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か?それをどう克服していくか?		

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(從来通りで特に改革改善をしない)	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		